

島村賞 本学会の前身である家畜繁殖研究会の初代会長島村虎猪先生のお名前を冠し、家畜繁殖に関する研究または技術の基礎部門に顕著な功績のあった会員に贈られる賞です。

年度	受賞者	受賞対象研究
昭和35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 平成元 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	1960 本間運隆（名古屋大学農学部）	産卵鶏に特異的な血液成分に関する研究
	1961 市川茂孝（大阪府立大学農学部）	胎盤から抽出した子宮収縮物質
	1962 尾川昭三（日本大学農獣医学部）	ラットの人工授精と付属生殖器官の運動に関する研究
	1963 菅原七郎（東北大学農学部）	哺乳動物卵子の呼吸能に関する研究
	1964 入谷 明（京都大学農学部）	山羊の精液中の卵黄凝固酵素に関する研究
	1965 江藤禎一（東京大学農学部）	ラットの排卵ホルモン放出に関する研究
	1966 笹本修司（東京農工大学農学部）	幼若マウスの誘起排卵反応による性腺刺激ホルンの生物学的検定法に関する研究
	1967 金川弘司（北海道大学獣医学部）	牛の異性双児、3仔および4仔における性染色体のキメラ（XX/YY）に関する研究
	1968 信永利馬（中外製薬株式会社総合研究所）	ラットにおける卵の卵管内通過に関する基礎的研究
	1969 石橋 功（千葉大学園芸学部）	ラット卵子の形態的研究，特に卵子の成熟について
	1970 森 純一（農林省畜産試験場）	牛の黄体形成ホルモンに関する免疫血液学的研究
	1971 豊田 裕（北里大学獣医畜産学部）	ラットにおける排卵の支配機構に関する研究
	1972 該当者なし	
	1973 石島芳郎（東京農業大学）	過排卵処置家兔における着床と妊娠に関する研究
	1974 石田一夫（新潟大学農学部）	哺乳動物卵子の組織化学的研究
	1975 該当者なし	
	1976 高橋和明（残留農薬研究所）	4日周期マウスにおける雄の近接による3日周期化現象とその発生機序に関する研究
	1977 筒井敏彦（日本獣医畜産大学）	犬の繁殖生理に関する研究
	1978 梅津元昭（東北大学農学部）	性成熟課程における初回排卵に至るまでのラット生殖系の諸変化について
	1979 橋本 禱（北里大学獣医畜産学部）	ラット卵巢静脈血中のジェスタージェンの動態に関する研究
	1980 山崎 巖（武田薬品工業株式会社中央研究所）	LH-RHおよびその誘導体の排卵誘起効果ならびに各種生物学的効果に関する研究
		哺乳動物における透明帯除去卵への異種精子侵入現象と家畜精子受精能の識別に関する研究
	1981 花田 章（農林水産省畜産試験場）	中枢麻酔剤応用によるマウス、ラットの性腺刺激ホルモン分泌機構に関する研究
	1982 岡本道生（中外製薬株式会社総合研究所）	
	1983 該当者なし	
	1984 長嶋比呂志（東京大学農学部）	マイクロマニピュレーションによる一卵性双生仔作出に関する基礎的研究
	1985 加藤征史郎（神戸大学農学部）	ヤギおよびブタの精巢網液ならびに精巢精子の特性に関する研究
	1986 該当者なし	
	1987 森 裕司（東京農工大学農学部）、前多敬一郎（名古屋大学農学部）	動物の季節繁殖性発現の制御機構に関する研究
	1988 長谷川喜久（群馬大学医学部）	インヒビンの微量測定法の開発とその応用
	1989 稲葉俊夫（大阪府立大学農学部）	雄犬におけるホルモンの動態とその応用
	1990 坪田敏男（岐阜大学農学部）	エゾヒグマの繁殖生理に関する研究
	1991 村上 昇（宮崎大学農学部）	生殖機構と生体リズム機構の共役に関する基礎的研究
	1992 田谷一善（東京農工大学農学部）	泌乳ラットにおける性腺刺激ホルモン分泌調節機構
	1993 河野友宏（東京農業大学総合研究所）	核移植によるクローンマウス作出に関する研究
	1994 野崎真澄（京都大学霊長類研究所）	ニホンザルの季節繁殖リズムの発現機序に関する研究
	1995 束村博子（名古屋大学農学部）	黄体形成ホルモンのパルス状分泌を制御する中枢機構
	1996 内藤邦彦（東京大学医科学研究所）	ブタ卵子成熟の卵胞内制御機構
	1997 加藤容子（近畿大学農学部）	マウス生殖系列上細胞核の多能性に関する研究
	1998 舟橋弘晃（岡山大学農学部）	豚卵胞卵子の体外成熟・受精：とくに初期発生能獲得に関する研究
	1999 宮本明夫（帯広畜産大学）	Paracrine/autocrine 機構による反芻動物の卵胞・黄体機能調節に関する研究

佐藤賞

本学会の前身である家畜繁殖研究会の第二代会長佐藤繁雄先生のお名前を冠し、家畜繁殖に関する研究または技術の応用部門に顕著な功績のあった会員に贈られる賞です。

年度	受賞者	受賞対象研究			
昭和35	1960	斎藤千寿男（明治乳業株式会社酪農部）	胎膜を目標とする早期妊娠鑑定に関する研究		
	36	1961	吉岡善三郎（関東東山農業試験場畜産部）	めん、山羊の雌性性活動の人為支配に関する研究	
	37	1962	中原達夫（農林省家畜衛生試験場中国支場）	牛における抗胎盤性刺激ホルモンに関する研究	
	38	1963	永瀬 弘（農林省畜産試験場）	牛精液の凍結保存技術に関する研究	
	39	1964	瑞穂 当（農林省畜産試験場）	精子の代謝から見た家畜精液保存法の検討	
	40	1965	岩田明敏（島根県家畜衛生試験場）	牛のビブリオ病に関する研究	
	41	1966	杉江 佶（農林水畜産試験場）	牛の受精卵移植に関する研究	
	42	1967	橋本和典（農林省家畜衛生試験場中国支場）	牛精液の細菌汚染防止に関する研究	
	43	1968	小笠 晃（農林省家畜衛生試験場）	雄牛の造精機能障害に関する研究	
	44	1969	大沼秀男（農水省畜産試験場）	家畜精子のacrosomeに関する研究	
	45	1970	渡辺守之（広島大学水産学部）	家禽の人工授精に関する研究	
	46	1971	池本卯典（科学警察研究所・東京農業大学血清研究所）	妊馬血清性腺刺激ホルモンの免疫学的研究	
	47	1972	窪道護夫（農林省動物医薬品検査所）	絨毛性性腺刺激ホルモンの幼若マウスによる生物学的検査に関する研究	
	48	1973	武石昌敬（日本大学農獣医学部）	牛胎児の発育に関する研究	
	49	1974	菅 徹行（農林省畜産試験場）	牛の子宮分泌液に関する研究 特に糖質の消長を中心として	
	50	1975	百目鬼郁男（農林省家畜衛生試験場）	牛リピートブリーダーにおける末梢血中性ステロイドの動向に関する研究	
	51	1976	小野 斉（帯広畜産大学）	卵巢囊腫牛の副腎皮質機能と副腎皮質ホルモンによる治療に関する研究	
	52	1977	和出 靖（農林省畜産試験場）	家畜精液の保存技術の改良	
	53	1978	金田義宏（農林省家畜衛生試験場）	プロスタグランジンF2αならびにLH-RHあるいはHCG併用による牛の発情・排卵の同期化に関する研究	
	54	1979	佐藤邦忠（帯広畜産大学）	馬の妊娠前期における血中エストロゲン、プロゲステロンならびにコルチゾールの動態に関する研究	
	55	1980	枅田博司（農林水産省畜産試験場）	豚精液中の蛋白凝集因子に関する研究	
	56	1981	中尾敏彦（酪農学園大学酪農学部）	エンザイムイムノアッセイによる家畜のプロゲステロン測定とこれを応用した卵巢囊腫の予後判定に関する研究	
	57	1982	該当者なし		
	58	1983	高橋芳幸（農林水産省日高種畜牧場）	牛受精卵移植技術における非手術的移植に関する研究	
	59	1984	福井 豊（帯広畜産大学）	緬羊の人工繁殖に関する研究	
	60	1985	小栗紀彦（農林水産省畜産試験場）	ウマの胚移植に関する研究	
	61	1986	鈴木 修（農林水産省中国農業試験場）	黒毛和種雌牛の繁殖機能の向上に関する研究	
	62	1987	鈴木達行（農林水産省福島種畜牧場）	牛の胚移植に関する開発的研究	
	63	1988	該当者なし		
	平成元	1989	居在家義昭（農林水産省中国農業試験場）	肉用牛の分娩後の繁殖機能に及ぼす哺乳の影響に関する研究	
		2	1990	加茂前秀夫（農林水産省畜産試験場）	牛の卵巢停止に関する研究
		3	1991	小島敏之（農林水産省畜産試験場）	哺乳動物初期胚の凍結保存に関する研究、特に固定化ヨウ化銀法の確立
4		1992	岩崎説雄（東京農業大学総合研究所）	体外受精由来ウシ初期胚の品質評価に関する研究	
5		1993	永井 卓（農林水産省畜産試験場）	豚における体外受精、特に雄性前核形成能に関する研究	
6		1994	岡野 彰（農林水産省畜産試験場）	黒毛和種雌ウシにおける生涯子ウシ産生ならびに胎子発育に関する研究	
7		1995	金子浩之（農林水産省九州農業試験場）	牛における卵胞刺激ホルモン分泌調節機構に関する研究	
8		1996	三宅陽一（岩手大学農学部）	染色体異常による家畜の繁殖障害に関する研究	
9		1997	奥田 潔（岡山大学農学部）	ウシ黄体の機能に関する研究－特に形態との関連性について－	
10		1998	該当者なし		
11		1999	吉澤 緑（宇都宮大学農学部）	哺乳動物の操作胚における細胞遺伝学的研究	

齋藤賞

本学会の前身である家畜繁殖研究会の初代理事長・第三代会長齋藤弘義先生のお名前を冠し、家畜繁殖に関する研究成果・技術の普及に顕著な功績のあった会員に贈られる賞です。

	年度	受賞者	受賞対象研究	
昭和	43	1968	押田 等（福島県いわき家畜保健衛生所）	馬の繁殖技術の向上および普及に対する業績
	44	1969	山下清一（埼玉県畜産試験場）	牛の凍結精液に関する技術の向上および普及に関する業績
	45	1970	黒田範雄（兵庫県畜産試験場）	兵庫県における家畜繁殖技術の普及向上に関する業績
	46	1971	森 貫一（北海道上川生産農協連）	北海道における乳牛の繁殖技術の向上および普及に関する業績
	47	1972	白山勝彦（三重県農業技術センター）	三重県における牛の人工授精技術の向上ならびに普及に関する業績
	48	1973	若林道郎（ホクレン農協連合会）	北海道における乳牛人工授精の普及発展に関する業績
	49	1974	四之宮重穂（北海道家畜改良事業団）	北海道における牛および馬の人工授精技術の向上ならびに普及に関する業績
	50	1975	檜崎秀男（家畜改良事業団前橋種雄牛センター）	牛凍結精液の実用化の推進 とくにその大量処理方式の開発に関する事業
	51	1976	中城啓一（家畜改良事業団前橋種雄牛センター）	北海道における乳牛の人工授精 特に凍結精液による受精の普及・発展に関する業績
	52	1977	池本安夫（日高地区農業共済組合）	主として北海道における牛馬の繁殖障害除去技術の普及に関する業績
	53	1978	蘇 祐明（中華民国台湾省畜産試験所）	台湾における家畜の繁殖ならびに人工授精の発展と技術普及に関する研究
	54	1979	本田一良（前千葉農業共済組合連合会）	千葉県における乳牛の繁殖傷害の防除及び人工授精の技術の向上と普及に関する業績
	55	1980	村上一雄（三共ゾーキ株式会社）	家畜繁殖領域における性ホルモンの応用に関わる学術普及に関する業績
	56	1981	富沢 舜（北海道富良野地区農業共済組合）	牛及び豚の繁殖障害の診断・治療に関わる技術開発並びに普及に関する業績
	57	1982	渡辺高俊（千葉県農業共済組合連合会）	乳牛の繁殖障害防除事業の推進と普及に関する業績
	58	1983	安田三郎（鹿児島県畜産試験場）	鹿児島県における肉用牛（黒毛和種）の改良増殖および繁殖技術の向上に貢献した業績
	59	1984	井下孝雄（ジャパン・ホルスタイン・ブリーディング・サービス）	ウシ凍結精液の衛生ならびに超細型化に関する業績
	60	1985	大竹道雄（埼玉県畜産試験場）	緬羊およびウシの人工妊娠技術の実用化と技術普及に関する業績
	61	1986	石井泰明（群馬県畜産試験場）	豚における繁殖技術の向上および飼養技術の改善・普及に関する業績
	62	1987	該当者なし	
	63	1988	該当者なし	
平成元	1989	山科秀也（北海道農業開発公社十勝育成牧場）	ウシ受精卵（胚）移植の応用的研究	
	2	1990	曾根 勝（静岡県中小家畜試験場）	豚の繁殖技術の向上、普及、とくにブタ精液の細菌汚染防止と保存性向上に関する業績
	3	1991	該当者なし	
	4	1992	清家 昇（雪印乳業株式会社受精卵移植研究所）	牛胚移植技術の普及
	5	1993	該当者なし	
	6	1994	荒木武紀（荒木獣医科診療所）	牛胚移植技術の現実と普及
	7	1995	砂川政広（群馬県畜産試験場）	胚移植に関する実用技術の開発と群馬県下における同技術の普及および啓蒙
	8	1996	該当者なし	
	9	1997	該当者なし	
	10	1998	澤向 豊（北海道農業共済組合連合会）	産業動物の生殖器疾患に対する超音波画像診断の応用
	10	1998	包 旭日干（中国内蒙古大学）	中国内蒙古における反芻家畜の体外受精・胚移植技術の開発と普及
	11	1999	伊藤正吾（長野県畜産試験場）	豚の繁殖技術の向上と普及、特に豚の卵巢囊腫の発生要因解明と豚凍結精液の普及